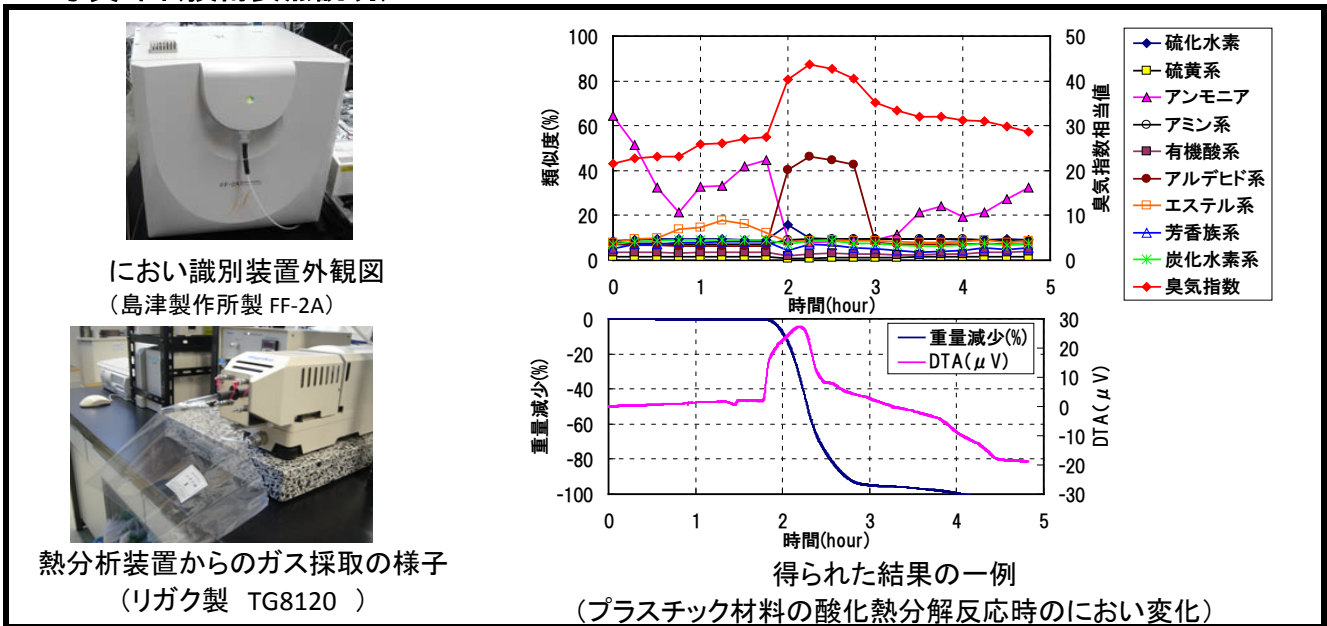


ひとわざ(一技)シーズ名: 目で見て分かる「におい」の評価手法

1. シーズ概要(200字目安) 研究技術内容 セールスポイント

私たちは、人は「もの」を判断するとき、視覚、味覚、触覚、聴覚そして嗅覚を用いている。物質は受熱することで熱分解し、煙、熱、と共に「におい」が発生する。このことから、「におい」の変化に基づく火災の感知手法の開発を行ってきた。「におい」は、人の感覚により判断するため、個人差が生じるため、「におい識別装置」により測定を行っている。この装置は、基準ガスとなるガスを選択し(一般的には悪臭防止法に定められている9種類のガス)、そのガスとどの程度異なるのかなどを数値で示す装置である。本研究室では、におい識別装置と熱分析装置を保有しており、これらを組み合わせることにより、材料が熱分解(窒素、酸素雰囲気)時に発生するにおいを測定する技術を保持しているため、様々な材料の評価に応用できる可能性がある。また、通常の空気臭気についても測定可能である。

2. 写真・図(技術要点説明)



3. 産業への活用方向 (適応業界・分野等)

様々な技術を各社が発信する際、安全・安心なシステムである必要があります。本研究室では、火災などの考えられるリスクに対して、被害に対する対応及び状況予測と最小限にする技術を提案致します。

4. 関係する大学・企業等

東京理科大学火災科学研究所、横浜国立大学、科学警察研究所、消防庁消防大学校消防研究センター

5. 研究室概要

学科名	機械工学科	研究分野	研究者名
		社会・安全システム	須川 修身
主研究テーマ	火災周辺科学、安全工学		
主要キーワード	実大火災実験、材料燃焼実験、消火、シミュレーション		

特記事項

(1) 特許取得・各種認証等取得状況(予定含む)

①構造物におけるケーブル貫通部の延焼防止装置、②屋内大空間の火災拡大防止・保安方法、③屋内大空間の火災抑制・保安方法、④高温ガスと調圧による火災抑制・保安方法、⑤高温ガスによる火災抑制・保安方法および装置、⑥給排気制御による大空間の火災抑制・保安方法、⑦高温ガスによる大空間の火災抑制・保安方法 など

(2) シーズの熟度(基礎研究 技術開発 実証開発 実用化開発段階等)